

平成 25 年 8 月 30 日

平成 25 年度薬剤学教科担当教員会議 議事次第

日 時：平成 25 年 8 月 30 日（金） 13：30～19：15

場 所：富山国際会議場（〒930-0084 富山市大手町 1-2 TEL：076-424-5931）

参加費：8,000 円

会 議：多目的会議室 201, 202 号室

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 13：00～ | 受付 |
| 13：30～13：40 | 委員長、副委員長挨拶、初参加の先生ご紹介 |
| 13：40～14：10 | 「第 98 回薬剤師国家試験について、複合問題の評価を中心に」
武蔵野大学薬学部 教授 三原 潔 先生 |
| 14：10～14：50 | 「薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂について」
武蔵野大学薬学部 教授 伊藤清美 先生
摂南大学薬学部 教授 佐久間信至 先生 |
| 14：50～15：00 | 休憩 |
| 15：00～15：45 | 特別講演Ⅰ 「Pharmacoproteomics：定量的標的絶対プロテオミクスに
基づく薬剤学の新展開」
東北大学大学院薬学研究科 教授 寺崎哲也 先生 |
| 15：45～16：30 | 特別講演Ⅱ 「薬物の消化管吸収に及ぼすトランスポーターの影響と相
互作用」
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 教授 玉井郁巳 先生 |
| 16：30～17：05 | 教育講演 「薬剤学の分野で身に付けてもらいたい知識とスキルー臨床
現場からの逆算の視点ー」
聖マリアンナ医科大学病院薬剤部 上塚朋子 先生 |
| 17：05～17：15 | 総括 大阪薬科大学 教授 掛見正郎 先生 |
| 17：15～19：15 | 情報交換会（3F ホワイエ） |

平成25年度 薬剤学教科担当教員会議 参加者名簿 2013.08.30

	大学名	参加者(敬称略)	職位
1	北海道大学	欠席	
2	北海道医療大学	齊藤 浩司	教授
3	北海道薬科大学	丁野 純男	教授
4	青森大学	欠席	
5	岩手医科大学	欠席	
6	東北大学	寺崎 哲也	教授
7	東北薬科大学	富田 幹雄	教授
9	奥羽大学	柏木 良友	教授
8	いわき明星大学	村田 亮	教授
10	国際医療福祉大学	山田 治美	教授
11	高崎健康福祉大学	林 正弘	教授
		荻原 琢男	教授
		梶田 昌裕	准教授
12	城西大学	夏目 秀視	教授
13	日本薬科大学	嶋原 淳	教授
14	千葉大学	伊藤 晃成	教授
15	東邦大学	寺田 勝英	教授
		宮内 正二	教授
16	日本大学	伴野 和夫	教授
17	東京理科大学	山下 親正	教授
18	千葉科学大学	細川 正清	教授
19	城西国際大学	長谷川 哲也	准教授
20	帝京平成大学	渡邊 丈夫	准教授
21	東京大学	前田 和哉	講師
22	北里大学	藤原 亮一	助教
23	慶応義塾大学	登美 斉俊	准教授
24	昭和大学	中村 明弘	教授
25	星薬科大学	高山 幸三	教授
		落合 和	講師
26	東京薬科大学	井上 勝央	教授
		新禎 幸彦	教授
27	明治薬科大学	吉田 久博	教授
28	武蔵野大学	大塚 誠	教授
		伊藤 清美	教授
29	昭和薬科大学	渡邊 善照	教授
		藤井 まき子	准教授
30	帝京大学	出口 芳春	教授
		丸山 一雄	教授
31	横浜薬科大学	難波 昭雄	講師
32	新潟薬科大学	上野 和行	教授
		飯村 菜穂子	准教授
33	富山大学	細谷 健一	教授
		久保 義行	准教授
34	金沢大学	玉井 郁巳	教授
35	北陸大学	小藤 恭子	准教授
36	岐阜薬科大学	竹内 洋文	教授
37	静岡県立大学	野口 修治	准教授
38	名古屋市立大学	湯浅 博昭	教授
		田上 辰秋	講師
39	名城大学	岡本 浩一	教授
		灘井 雅行	教授
40	金城学院大学	林 弥生	教授
41	愛知学院大学	鍋倉 智裕	教授
42	鈴鹿医療科学大学	出屋敷 喜宏	教授
		大倉 一人	教授
43	立命館大学	藤田 卓也	教授
		桂 敏也	教授
44	京都大学	高倉 喜信	教授
45	京都薬科大学	山本 昌	教授
46	同志社女子大学	芝田 信人	教授
		伊賀 勝美	教授
47	大阪大学	欠席	
48	大阪薬科大学	掛見 正郎	教授
		岩永 一範	准教授

H25年度副委員長

H25年度副委員長

49	近畿大学	岩城 正宏	教授
50	摂南大学	佐久間 信至	教授
51	大阪大谷大学	村上 正裕	教授
52	神戸学院大学	福島 昭二	教授
53	神戸薬科大学	岩川 精吾	教授
		寺岡 麗子	准教授
54	兵庫医療大学	南畝 晋平	講師
55	武庫川女子大学	内田 享弘	教授
		吉田 都	講師
56	姫路獨協大学	中村 任	教授
57	岡山大学	檜垣 和孝	教授
58	就実大学	丹羽 俊朗	教授
		小野 浩重	准教授
59	広島大学	永井 純也	准教授
60	安田女子大学	山口 俊和	教授
61	福山大学	金尾 義治	教授
62	広島国際大学	笠岡 敏	講師
63	徳島大学	欠席	
64	徳島文理大学	櫻井 栄一	教授
65	徳島文理大学香川薬学部	加藤 善久	教授
66	松山大学	欠席	
67	九州大学	島添 隆雄	准教授
68	第一薬科大学	三嶋 基弘	教授
69	福岡大学	道具 伸也	准教授
70	長崎大学	西田 孝洋	教授
71	長崎国際大学	中島 憲一郎	教授
72	熊本大学	今井 輝子	教授
73	崇城大学	平山 文俊	教授
74	九州保健福祉大学	横山 祥子	教授

H25年度委員長

H25年度副委員長

平成25年度 薬剤学教科担当教員会議 議事録

日時；平成25年8月30日（金）13：30～17：15

場所；富山国際会議場（〒930-0084 富山市大手町1-2）

出席者；87名（別添資料）、委員以外の発表者2名

1. 委員長・副委員長挨拶、初参加の先生のご紹介

会議は、定刻通り開始された。まず、委員長の内田享弘先生（武庫川女大）、副委員長の細谷健一先生（富山大）、藤田卓也先生（立命館大）、櫻井栄一先生（徳島文理大）から開催の挨拶があった。初参加者から簡単な自己紹介がなされた。

2. 「第98回薬剤師国家試験について、複合問題の評価を中心に」（資料別添） 三原 潔 先生（武蔵野大）

第98回薬剤師国家試験については、国家試験問題検討委員会「薬剤」部会で十分な討議が行われ、出席者もほぼ同じメンバーであるため、今回は、別の角度から視点を変え、複合問題に対する分析と評価が紹介された。

出席者から、問題の複合性について作題委員の間で十分な話し合いがもたれているのかなどなどの質問が飛び出た。

3. 「薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂について」（資料添付）

伊藤清美 先生（武蔵野大）

佐久間信至 先生（摂南大）

政田幹夫先生（福井大学医学部附属病院教授・薬剤部長）が講演する予定であったが、急用のため欠席となった。急遽、講演者として伊藤清美先生（武蔵野大）と佐久間信至先生（摂南大）が登壇し、添付資料を基に薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂点について紹介された。

4. 特別講演Ⅰ「Pharmacoproteomics：定量的標的絶対プロテオミクスに基づく薬剤学の新展開」（資料添付）

寺崎哲也 先生（東北大学大学院薬学研究科）

細胞内タンパク質の全体的分布を記録し、興味ある個々のタンパク質を同定・解析し、最終的にそれら相互の関連と機能を解明し、標的プロテオミクスの薬剤学研究への応用について寺崎先生の研究が紹介された。さらに、タンパク質の定量法を用いた病気の診断法や治療薬の選択法の開発、

そして、新しい創薬研究への展望について語られた。

5. 特別講演Ⅰ 「薬物の消化管吸収に及ぼすトランスポーターの影響と相互作用」(資料添付)

玉井郁巳 先生(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科)

種々の薬物の消化管吸収における薬物トランスポーターの役割や寄与に関して、詳細な解説がなされた。さらに、フルーツジュースと薬物の薬物トランスポーターとの相互作用に関するデータが示され、薬物-薬物および薬物-食物相互作用に関する最新の知見が紹介された。

6. 教育講演「薬剤学の分野で身につけてもらいたい知識とスキル-臨床現場からの逆算の視点-」(資料添付)

上塚朋子 先生(聖マリアンナ医科大学病院薬剤部)

講演は、参加者への質問形式をとったアイデア溢れるものであり、講演者自身がアメリカで体験した Pharm. D-コースの臨床実習と対比した講演内容となった。双方向性の教育方法の有用性を最大限利用し、考える力の養成が薬剤師としての生涯学習の駆動力になることが力説された。

総括

掛見正郎 先生(大阪薬科大)

掛見先生が、今後の本会議の在り方を含めて、会議の総括を行った。

最後に、内田 委員長、細谷 副委員長の任期が今年度で終了し、次年度委員長に藤田卓也 先生(立命館大)、副委員長に櫻井栄一 先生(徳島文理大)が選出された。櫻井 先生より、次回の教員会議は徳島で開催される旨が伝達され、会議は予定通り終了した。